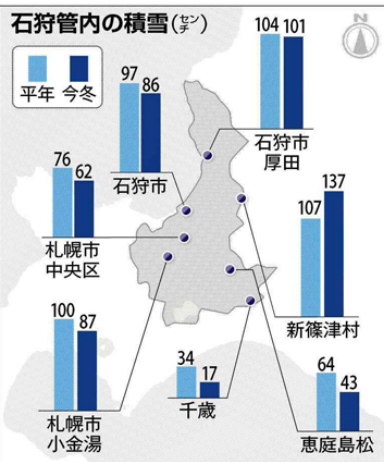




年 組 名前

道新で
ワークシート

(注) データは2月18日の積雪

雪また雪 帳尻合わせ来た

少雪から一転 札幌積雪69センチ

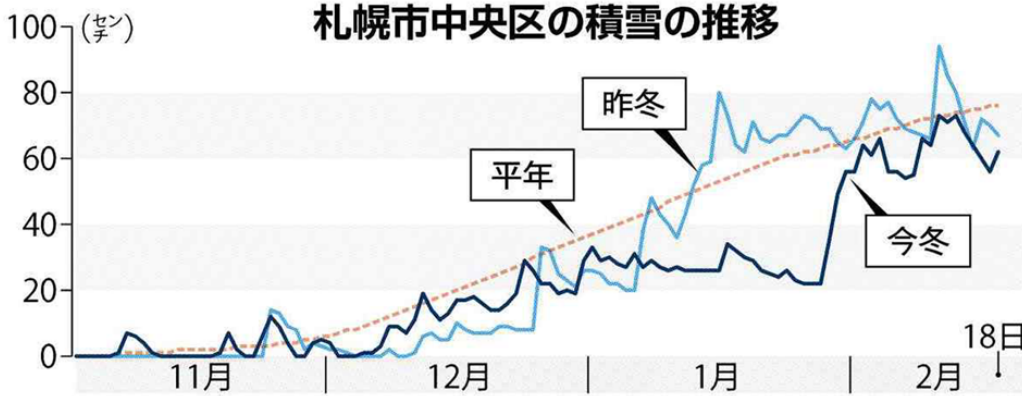
北海道の日本海側でまとまった雪が降った19日、石狩管内でも風雪が強まり、札幌市中央区の積雪は午後6時現在69センチと、平年の76センチに近づきつつある。管内は今冬、少雪傾向にあったが、札幌管区気象台によると、20日以降も断続的に降雪が続く予報で、週内には平年並みの積雪量となりそうだ。

気象台によると、札幌市中央区の同時刻までの24時間降雪量は10センチ。積雪は平年より7センチ少ない。

今冬の札幌が少雪傾向にあったのは、寒気や雪雲をもたらす北側からの風が弱かったため。札幌市中央区の積雪は、昨年12月24日に平年の28センチを1センチ上回って以降はまとまった降雪が少なく、平年以下の状態が続いていた。ただ、2月に入ってから北側からの風が強まる日が増えたことにより断続的な降雪があり、平年並みに近づいている。

帳尻を合わせるかのような降雪に市民は19日、朝から雪かきに追われた。

北風強く週末にも平年並みに



2025年 2月20日(木) 朝刊 札幌市内版 13ページ (記事は再編集しています)

- (1) ——線「同時刻」とありますが、これは何日の何時を指していますか。記事の中から探して書きなさい。
- (2) 見出しに「帳尻合わせ来た」とありますが、これは具体的には何を指していますか。記事の内容から50字程度で答えなさい。
- (3) グラフについて説明したものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。
- ア 折れ線グラフからは、今年の1月全体の積雪量が平年並みであることが分かり、棒グラフからは2月時点で札幌や石狩の積雪量が平年並みであることが分かる。
- イ 折れ線グラフからは、今年の1月全体の積雪量が昨冬より多いことが分かり、棒グラフからは2月時点で多くの地点で平年を超える積雪量だということが分かる。
- ウ 折れ線グラフからは、今年の1月全体の積雪量が平年より多いことが分かり、棒グラフからは2月時点でも多くの地点で積雪量が少ないことが分かる。
- エ 折れ線グラフからは、今年の1月全体の積雪量が平年より少ないことが分かり、棒グラフからは2月時点で札幌や石狩の積雪量が平年並みであることが分かる。